

2016 年度北米社会科教師招聘プログラム

開催日：	2016年6月27日（月）～7月6日（水）	
参加者：	アーパン・チョクシ	イリノイ州 ヒンズデール セントラル高校
	シンディ・ダウニング	バージニア州 サウス カウンティー中学校
	ロバート・ジャルディン	カナダ サスカチュワン州 ブレイクレイ コンポジットスクール
	アロン・レベスク	ニューハンプシャー州ピノクトン アカデミー高校
	アンバー・ルイス	ネブラスカ州 キアニー高校
	クリストファー・スパマン	ニュージャージー州ウィリアムズタウン高校
	ケイシー・シドズ	メリーランド州アーガイル マグネット中学校
	ブライアン・ウォレス	ジョージア州 ケンブリッジ高校
	メラニー・ワーナー	テネシー州 セイモア中学校
	ジェニファー・ウェスト	ミズーリ州 パークヒル高校
コーディネーター：	村松康平	経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターでは、国際相互理解促進の観点から、1980年以降、米国、カナダの中学・高校教師を対象とした招聘事業を実施し、日本の教員・生徒との交流や企業訪問等の機会を提供するとともに、帰国後、日本での体験を授業等で積極的に活用することを奨励している。プログラム参加者は、これまでに700名弱に及び、本年もイリノイ州、バージニア州、テネシー州やカナダ・サスカチュワン州などから10名が来日した。

一行は、6月27日から7月6日にかけて、東京、京都等を訪問、聖ヨゼフ学園中学・高校、筑波大附属高校、目白研心高校、京都市立西京高校、同紫野高校において、米国の地理の授業を行うなど生徒に対し直接指導を行った。学校側からは「北米の先生達との交流は生徒達にとって大いに刺激になった（聖ヨゼフ学園中学・高校清水勝幸校長）」との評価を得た。

また、サンリオ、日産自動車、ソニーでは、各社の施設見学を行うとともに、米国等における事業活動の状況などにつき説明を聞き、意見交換した。

最終日には、「日米の人的交流—本当の課題」と題するシンポジウムに参加した。日本の高校生との交流・対話の経験を踏まえて、「日本の高校生は海外で活動したいという強い思いを持っている。彼らの夢が叶うよう、様々な形で応援することが重要だ（ジョージア州ケンブリッジ高校のウォレス教諭）」などと発言した。

【訪問先】

教育関係：聖ヨゼフ学園中学校・高校、筑波大附属中学校・高校、
目白研心中学校・高校、京都市立西京高校、京都市立紫野高校、
国立教育政策研究所

企業関係：サンリオ、ソニー、第一生命経済研究所、電通、日産自動車、
日本総合研究所

政府関係：米国大使館、外務省

識者：藤崎一郎元駐米大使

以上



一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。